



自転車のまちつくば

平成30年度第1回自転車のまちつくば推進委員会

つくば市自転車安全利用促進計画アクションプラン

平成29年度実績・評価 平成30年度の取組内容

平成30年7月31日

つくば市

都市計画部 総合交通政策課



自転車安全利用促進計画アクションプラン 実績評価方法

○施策の評価は、平成29年度各施策アウトプット指標の数値を、「つくば市自転車安全利用促進計画アクションプラン」P37に掲載されている評価方法に基づいて評価を実施します。

(1) 実施メニュー別評価

考え方	評価	点数
成果目標を達成している	a	2点
成果目標は達成していないが、事業を実施している	b	1点
事業に未着手	c	0点

(2) 施策別評価

実施メニューに付与した点数を、施策ごとに平均点を算出し、以下のように評価します。
評価した結果を次ページ以降に掲載しています。

平均点	考え方	評価
2点以上	すべてのメニューが成果目標を達成している	A：目標を上回る成果
1点以上	概ねの施策が進んでいる	B：概ね目標通りの成果
1点未満	施策が進んでいる	C：目標には届かないが成果あり
0点	全てのメニューが着手されていない	D：未実施

[平成29年度実績の評価結果] 自転車安全利用促進計画アクションプラン

A. 目標を上回る成果

B. 概ね目標どおりの成果

C. 目標には届かないが成果あり

D. 未実施

A評価

施策 8%

B評価

施策 50%

C評価

施策 25%

D評価

施策 17%

基本目標 1

自転車の安全利用につなげる意識づくり

<施策の方向性 1>
自転車安全利用を促すための教育の充実

<施策の方向性 2>
自転車の安全な利用を見守る社会の構築

【施策 1】 ライフステージに応じた自転車利用等の交通安全に関する教育の促進

B

【施策 2】 自転車安全利用を促す啓発活動

C

【施策 3】 連携・協働による自転車安全利用促進体制の充実

D

【施策 4】 自転車安全利用教育を応援する体制の構築

D

基本目標 2

安全で、快適に自転車で走ることができる環境づくり

<施策の方向性 3>
自転車走行環境の形成

<施策の方向性 4>
自転車を快適に利用できるサービスの構築

【施策 5】 歩行者・自転車等の通行環境の整備・充実

B

【施策 6】 駐輪場の整備と放置自転車の対策

A

【施策 7】 サイクリングを楽しむためのサービス環境の充実

B

【施策 8】 公共交通と連携した自転車利用の促進

B

基本目標 3

環境にやさしく健康に役立つ自転車を楽しむまちづくり

<施策の方向性 5>
環境にやさしい自転車利用の促進

<施策の方向性 6>
健康づくりにつながる自転車利用の促進

【施策 9】 温室効果ガス排出量削減を目指した行動の拡大

C

【施策 10】 交通手段転換へのサポートの充実

C

【施策 11】 健康づくりを目指した自転車利用の充実

B

【施策 12】 自転車を活用した健康づくりを応援するサービスの充実

B

ライフステージに応じた自転車利用等の交通安全に関する教育の促進

【施策1】 ライフステージに応じた自転車利用等の交通安全に関する教育の促進

メニュー1：小学生のための自転車利用等の交通安全に関する教育

メニュー2：中学生のための自転車利用等の交通安全に関する教育

メニュー3：高校生のための自転車の安全利用に関する教育

メニュー4：保護者のための自転車利用等の交通安全に関する教育

メニュー5：高齢者のための自転車利用等の交通安全に関する教育

平成29年度の実績評価

B

平成28年度：B

平成29年度実績	課題・改善方針	平成30年度取組
<ul style="list-style-type: none"> ● 交通安全教室については、小学生向けを147回、中学生向けを15回開催した。 ● 交通安全教室147回のうち、学校の長期休み期間において自転車シミュレータ体験を34回、ラジコンを利用指定の教室を2回実施。 ● 高齢者のための交通安全教室を49回実施した。併せて自転車反射材ぺったん運動も継続して実施した。 ● 小学生保護者のための交通安全教室を1回実施することができた。 	<p>高校生のための事業について、概要が定まっておらず、引き続き検討が必要である。引き続き高等学校や関係機関との意見・情報交換を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き交通安全教室を積極的に展開する。 ● 交通安全団体への補助金を交付し、キャンペーンや競技大会の実施をおこなう。

自転車安全利用を促す啓発活動

【施策2】自転車安全利用を促す啓発活動

メニュー1：自転車安全利用サポーター制度

メニュー2：幼児2人同乗用自転車購入費補助事業

メニュー3：自転車保険加入促進事業

メニュー4：自転車ヘルメット利用促進事業

平成29年度の実績評価

C

平成28年度：B

平成29年度実績	課題・改善方針	平成30年度の実績
<ul style="list-style-type: none"> ● サポーター制度はスポーツ自転車販売店やロードバイク利用者を対象とした制度設計を検討している。 ● 幼児同乗用自転車購入費補助について49件補助を行い、概ね目標通りの成果となった。 ● 自転車安全利用チラシを活用し、イベント（6件）にて保護者を対象に保険加入及びヘルメット着用の必要性を説明した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● サポーターへのメリットを検討する必要がある。 ● 自転車購入時の保険加入率やヘルメット購入率を把握する方法を検討する必要がある。 ● 主なターゲットは中学生ではあるが、大人へのヘルメット利用促進方策も検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全利用サポーター制度について、制度設計と関係者の整理を行う。 ● 幼児同乗用自転車購入費補助については、広報を強化し、更に周知を進めていく。 ● メニュー3、メニュー4についてはイベント出展時にアンケートを行い、ヘルメットと保険加入の割合を把握することを検討中。

連携・協働による自転車安全利用促進体制の充実

【施策3】 連携・協働による自転車安全利用促進体制の充実

メニュー1：自転車の安全利用を促進するためのコンソーシアム

平成29年度実績	課題・改善方針	平成30年度の実績
<ul style="list-style-type: none"> 他自治体の事例収集 	具体的な事業内容や目指す効果を明確化し、対外的な調整が必要。	<ul style="list-style-type: none"> 自転車の安全利用に関連する委員会メンバーと情報交換、取組の推進を図る。

平成29年度の実績評価

D

平成28年度：D

施策4

自転車安全利用教育を応援する体制の構築

【施策4】 自転車安全利用教育を応援する体制の構築

メニュー1：自転車安全利用教育に携わる指導者の育成

平成29年度実績	課題・改善方針	平成30年度の実績
<ul style="list-style-type: none"> 自転車通勤のメリットを整理 	具体的な事業内容や目指す効果を明確化し、対外的な調整が必要。	<ul style="list-style-type: none"> 自転車の安全利用パンフレット等を事業所へ配布する。

平成29年度の実績評価

D

平成28年度：D

歩行者・自転車等の通行環境の整備・充実

【施策5】歩行者・自転車等の通行環境の整備・充実

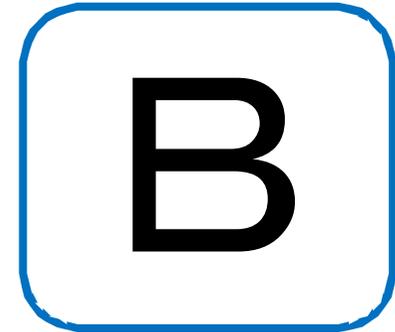
メニュー1：生活に密着したエリアの自転車走行空間の整備

メニュー2：交通拠点への安全・安心なアクセスルートの整備

メニュー3：長距離を安全に楽しく自転車走行できるルートの整備

メニュー4：ペDESTリアンデッキ整備

平成29年度の実績評価



B

平成28年度：A

平成29年度実績	課題・改善方針	平成30年度取組
<ul style="list-style-type: none"> つくば市吾妻地区にて自転車通行帯（自転車レーン）を1100m整備した。 吾妻・竹園地区のペDESTリアンデッキ整備に向けた測量・設計の準備を行った。 ペDESTリアンデッキ主線（赤塚公園～メディカルセンター前）の90%の箇所を点検・改修した。また支線の17箇所を点検・改修した。 	<p>概ねスケジュール通りに進捗している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 竹園地区にて自転車通行帯（自転車レーン）を1700m設置するための測量・設計を予定。 吾妻地区にて自転車通行帯（自転車レーン）を270m整備する予定。 吾妻・竹園地区のペDESTリアンデッキ整備に向けた測量・設計を実施する予定。

駐輪場の整備と放置自転車の対策

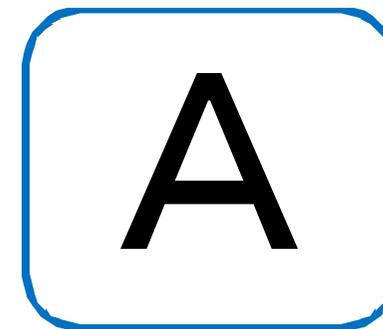
平成29年度の実績評価

【施策6】駐輪場の整備と放置自転車の対策

メニュー1：自転車等放置禁止区域における環境改善事業

メニュー2：自転車等駐車場の附置義務の施行

メニュー3：リサイクル自転車活用事業



平成28年度：B

平成29年度実績	課題・改善方針	平成30年度取組
<ul style="list-style-type: none"> ● H28年度の隣接商業施設からの要望を受け、放置自転車対策を強化し、平成30年6月から週3回体制で撤去作業を実施し、計2094台を撤去した。 ● つくば市自転車等駐車場附置義務条例に基づき審査を行い、指定区域内にて2件の駐輪場新設を審査した。 ● 撤去し保管期限を超過した放置自転車961台を、茨城県自転車二輪車商協同組合及びつくば市シルバー人材センターへ贈与した。贈与した自転車はリサイクル自転車として市内で活用される予定。 	<p>H29年度は、特に要望は上がっていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 継続して放置自転車の指導・警告、撤去作業を実施していく。 ● 条例に基づく附置義務駐輪場の審査を行っていく。 ● 継続して、組合及びシルバー人材センターと連携し放置自転車の撤去、利活用を進めていく。

サイクリングを楽しむためのサービス環境の充実

【施策7】サイクリングを楽しむためのサービス環境の充実

メニュー1：中心市街地の駐輪場の活用事業

メニュー2：休憩施設や自転車用無料空気入れなどの設置事業

メニュー3：シャワー施設や自転車修理等の情報提供事業

メニュー4：パーク&サイクルライド推進事業

平成29年度の実績評価

B

平成28年度：B

平成29年度実績	課題・改善方針	平成30年度の取組
<ul style="list-style-type: none"> ● つくば駅周辺自転車駐車場の運営管理を実施した。 ＜利用台数：3495台（1日平均）＞ ● 休憩施設の数が217箇所（市内公園184か所、茨城サイクルサポートステーション31か所、市施設2か所）、空気入れ設置箇所数が43箇所となった。 ● 茨城サイクルサポートステーション事業による周知により、施設等の情報提供数が31施設分となった。 ● 筑波学院大学がペDESTリアンデッキで行っているセグウェイ見守り活動にて、平成29年度も自転車の利用状況等の報告をもらった（報告件数7件） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 休憩施設の適切な維持管理が必要となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● つくば駅周辺自転車駐車場 17か所について、維持管理を継続する。 ● 茨城県施策（いばらきサイクルサポートステーション、パーク&サイクルライド等利活用）との連携強化 ● 引き続き筑波学院大学が実施する見守り活動と連携し、ペDESTリアンデッキの自転車利用状況を情報提供してもらう。

公共交通を連携した自転車利用の促進

【施策8】公共交通と連携した自転車利用の促進

メニュー1：交通拠点に付設した駐輪場整備事業

メニュー2：自転車積載バス運行事業

メニュー3：サイクルシェアリング事業

メニュー4：レンタサイクル事業

平成29年度の実績評価

B

平成28年度：B

平成29年度実績	課題・改善方針	平成30年度の実績
<ul style="list-style-type: none"> つくばスの拠点バス停である「筑波交流センター」に付設する駐輪場を関係課と連携し整備した。 新設バス停は3件あったが、用地の関係で駐輪場設置を見送った。 つくバス北部シャトルの自転車積載バス利用実績は18件であった。 サイクルシェアリング研究の一環としてゆかりの森、荃崎こもれび六斗の森、荃崎運動公園の各施設でレンタサイクル事業を試験的に実施しており、貸出実績は計130件であった。 つくばエクスプレス利用者の二次交通としての利用が浸透していることなどから、利用件数が増加している。 つくば駅レンタサイクル貸出実績 4000件 筑波山口レンタサイクル貸出実績 530件 茨城県広域レンタサイクル 48件 	<ul style="list-style-type: none"> つくバス北部シャトル自転車積載ラックの利用が伸びない原因を整理する。 試験的レンタサイクルの本格導入か否かに向けた検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通拠点整備に携わる部署と連携し、駐輪場設置及び拡充を検討していく。 ホームページ、つくバスガイドのほかにも自転車積載バスのPR活動を実施する。 筑波山口を起点としたバスやクルマからの自転車利用をPRしていく。 筑波山レンタサイクルを通年利用とし、利用を促進する（H28年度までは11月から3月まで休止）

温室効果ガス排出量削減を目指した行動の拡大

【施策9】 温室効果ガス排出量削減を目指した行動の拡大

メニュー1：エコ通勤促進事業

メニュー2：温室効果ガス排出量削減促進事業

平成29年度の実績評価

C

平成28年度：B

平成29年度実績	課題・改善方針	平成30年度の実績
<ul style="list-style-type: none"> ● 市民・事業者の意欲・知識レベルが一定に達したと考えられることから、平成29年度は週単位のエコ通勤活動ではなく、年間を通じて啓発・ノベルティ配布・アンケート回答者へのエコポイントの付与などの活動を実施した。 ● エコ通勤期間中の自転車利用者数：100人 ● 温室効果ガス排出量削減促進事業は、検討中であり実施には至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● エコ通勤期間中の自転車利用者数実績を踏まえて、H30年度目標値200人を110人へ修正する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、自動車から自転車等へのCO₂排出量の少ない交通手段への転換を促すキャンペーンを実施する。

交通手段転換へのサポートの充実

【施策10】交通手段転換へのサポートの充実

メニュー1：クルマから自転車へのモビリティマネジメント事業

メニュー2：自転車とバスを連携した利用促進事業

メニュー3：バス×りんりんつくばオデカケキャンペーン

平成29年度の実績評価

C

平成28年度：B

平成29年度実績	課題・改善方針	平成30年度の実績
<ul style="list-style-type: none"> ● サイクリングマップ、自転車安全利用促進チラシの配布等による普及広報を実施した。広報回数については目標値に届かなかったものの、各イベントを中心に11回実施した。 ● 楽しい自転車利用に関する講座については、市民からの申し込みがなく実施に至らなかった。 ● つくバスの拠点停留所「筑波交流センター」に付設する駐輪場を整備した。【再掲】 ● 新設したつくバス停留所（3か所）では付近に余地がなく、駐輪場設置を見送った。【再掲】 ● Tsukuba Bicycle Slow Lifeでもバスの結節点を紹介しており施策の重複が見られたことから、スローライフの配布に取り組みを集約し、バスと自転車の利活用を促進した。 	<p>サイクリングガイドを活用し、市民に対して、クルマから自転車への交通手段転換を図っていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● サイクリングガイドなどのウェブサイトを活用に注力した広報を図る。 ● 講座については、自転車利用の経済的効果等を軸に、施策4や環境部局との連携により企業向けの周知を図る。 ● 拠点バス停周辺の駐輪場確保・周知を図っていく。 ● バス&自転車の利用促進のため、Tsukuba Bicycle Slow Lifeをつくばセンターや大穂窓口センターなどの拠点バス停に設置し、周知を図っていく。

健康づくりを目指した自転車利用の充実

【施策11】健康づくりを目指した自転車利用の充実

メニュー1：サイクリングマップの作成事業

メニュー2：自転車を利用したイベントの企画・支援

平成29年度の実績評価

B

平成28年度：A

平成29年度実績	課題・改善方針	平成30年度取組
<ul style="list-style-type: none"> ● サイクリングマップ「Tsukuba Bicycle Slow Life」を施設設置、イベント配布等を通じて5,300部配布した。また、平成30年度版の冊子を12,000部作成した。 ● ウェブサイト「サイクリングガイド」に家族でサイクリングをPRするコース9を追加した。 ● 各関係者との連携・支援・協力のもと、りんりんフェスタつくばサイクリング（10月）が開催された。特に11月の市催事「サイエンスコラボ」では筑波大学、茨城県輪業組合及びTASサイクルと連携し、自転車PRに特化したブースを出展した。 ● 広報によるイベント支援は、ウェブサイト「サイクリングガイド」によりチーム36等の情報を収集し、展開した。 	<p>ウェブサイトの情報に偏りが見られるので、幅広い種類の情報を発信する体制整備が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ウェブサイトサイクリングガイドの内容更新やインスタグラム機能の追加を行う。 ● サイエンスコラボにて自転車に特化したPRブースを今年度も企画する。 ● ウェブサイトに関係団体が皆で情報を掲載できる環境構築を図る。

自転車を活用した健康づくりを応援するサービスの充実

【施策12】 自転車を活用した健康づくりを応援するサービスの充実

メニュー1：サイクリング記録アプリの開発

メニュー2：健康サイクリング情報発信事業

平成29年度の実績評価

B

平成28年度：B

平成29年度実績	課題・改善方針	平成30年度の実績
<ul style="list-style-type: none"> ● 平成28年4月につくば市サイクリングガイド（HP）を開設し、平成29年度には位置情報表示や新着情報更新機能を追加した。 ● 健康づくりを促進するため、サイクリングガイド（HP）に親子で散策することを想定したコース9を追加【再掲】 	<p>サイクリングアプリの開発は現実的でないことから位置づけを見直し。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●平成30年度もつくばサイクリングガイドの機能充実させ、サイトアクセス数増加につなげる。 ●健康づくりについては、冊子のスローライフ配布、サイクリングガイド（HP）の周知により推進する。 ●サイクリング記録アプリは、既に民間事業者から数多く公表されていることから、市で開発することは見送り、つくば市サイクリングガイドを活用した自転車利活用を進めることとする。